

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Assist

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第177号

トピックス

【参加報告】

関東ブロック映像制作担当職員研修会に参加しました

1月29日(火)、社会福祉法人聴覚障害者情報文化センターに於いて、関東ブロック映像制作担当職員研修会が開催され当施設より職員が参加しました。

本研修は関東にある10施設の中から6施設(神奈川、東京、埼玉、山梨、栃木、横浜)、7人の参加がありました。昨年11月に長崎で開催された聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会参加者からの報告の後、「撮影に至るまでの流れ」をテーマに映像ができるまでの経過ポイント(シナリオ、絵コンテ作成、許可申請)を各施設の手続き方法や技法等を確認しながら学びました。

ビデオクリニック①は、東京より月1回のペースで撮影スタッフが撮った映像を使って約3分の動画「情文センターだより」を作成しているとの報告に対し、参加者から様々なアドバイスがありました。引き続き、ビデオクリニック②は、当施設より「聴覚障害理解のための啓発DVD」の制作経過報告と映像を発表しました。関係者だけでなく、一般の方々に見てもらって意見を求めると良いなど、アドバイスをいただきました。他施設担当職員に映像を見ていただくことで緊張感を保ち、よりよい映像を作りたい気持ちになりました。

今後も、ブロック単位の研修では、担当者が業務に直結でき、情報も技術も交換できる場として継続していくことが大切だと感じました。



相談事業

【参加報告】

第32回全国ろうあ者相談員研修会・ 第23回全国職業安定所手話協力員等研修会 兼ろうあ者労働問題フォーラム

1月25日(金)～26日(土)の2日間、全日本ろうあ連盟主催の標記研修会がワークプラザ岐阜及び中部学院大学各務原キャンパスにて開催されました。全国から99人が集まり、当施設から職員が参加しました。



1日目は、全日本ろうあ連盟福祉・労働委員会からの基調講演と4名のパネラーによる講演とパネルディスカッション「相談・支援におけるチーム支援の構築について」が行われました。2日目は、事例レポート報告を受け、①ろうあ者相談員関係の事例検討 ②ろうあ者相談員としての悩み、ネットワーク、国への要望 ③手話協力員としての悩み、国への要望 ④事例検討(求職・職場定着)の4つの分科会に分かれてグループ討議を行い、最後に全体会にて報告を行いました。当施設職員

は「ろうあ者相談員としての悩み」の分科会に参加しましたが、問題点や解決方法など横浜と共通することが多く、参考になりました。来年は近畿で開催予定です。

相談事業

【参加報告】

平成30年度 第4回関東ろうあ者相談員連絡会

12月7日（金）、標記連絡会が聴力障害者情報文化センターで開催され、22人の参加があり、



当施設から職員2人が参加しました。（一社）日本手話通訳士協会会長 小椋英子氏を講師に迎え、「相談員と手話通訳者の役割について」のテーマで講演が行われました。手話通訳には対人援助技術が不可欠なことや、手話通訳者と相談員は兼ねるのではなく、立場を分けなければならない、との話がありました。最後に情報交換として、参加者から相談支援専門員についてや、個別支援計画を作成している相談員がいるかなどについて話し合いを行いました。

【参加報告】

平成30年度 第6回浜の会「茶話会」報告

2月4日（月）、神奈川ろうヘルパー連絡会かもめの会「浜の会」と（一社）横浜市聴覚障害者協会が主催の「茶話会」が西区社会福祉協議会福祉保健活動拠点フクシアにて行われ、利用者16人の参加があり（うち6人スタッフ）、当施設から職員が参加しました。職員からは、介護保険被保険者証について話をしました。被保険者証を持っているが介護保険サービス利用経験がない参加者が半数で、介護保険料、介護保険サービス利用料、依頼の仕方など、積極的な質問がありました。



今後も顔の見える関係づくりを継続し、情報提供をしていきたいと思ひます。

派遣事業

手話通訳・要約筆記者合同研修

「健康講座～手話を学び通訳する人に知っておいて欲しい事～」

2月2日（土）、手話通訳士・ピラティスインストラクター 杉浦智子さんをお招きし、上記テーマで研修を行い64人が出席しました。内容は、通訳者が健康に通訳活動を続けるための対策と頸肩腕障害の予防についての講義、フェイスタオルを使ったピラティスの実技でした。設置通訳者等をされていた講師の経験からのお話は、同じ通訳者として共感できることが多く、健康問題は身近にあり、予防が必要なことを改めて感じる内容でした。



講師から今日からできる心のメンテナンスを紹介され、終了後に受講した通訳者からは、「寝る前に『その日良かったことを1つ考える』をやってみます」との声を多く聞きました。この講座の開催が通訳者のみなさんの健康管理に繋がるよう、今後も継続していきたいと思ひます。



「聴覚障害者災害救援横浜市域本部」会議について

1月10日（木）、今年度第2回の標記会議が開催されました。市域本部の基本的な方針確認や要綱制定について協議した他、発災後におこなう安否確認行動の際に必要な「対象者名簿」の取り扱いについて意見交換しました。通訳者協会と情報提供施設で作成した啓発資材（案）については、自助の重要性に関する内容を盛り込むことや、使用目的に合わせた大きさ等についても検討しました。また、来年度の横浜市総合防災訓練への参加も検討していくこととなりました。

次回会議は3月13日（水）に開催されます。

【参加報告】 平成30年度 手話通訳者養成担当講師ブロック研修会

2月9日（土）～2月10日（日）の2日間、埼玉県ウェスタ川越で平成30年度手話通訳者養成担当講師ブロック研修会がおこなわれ、職員1人が参加しました。近隣各地域から26人の参加がありました。



前半は、求められる手話通訳者像を整理することからはじめ、講師としてどのような手話通訳者を育てたいかを確認する演習をおこないました。後半は、その手話通訳者像を念頭に、「受講生の力と意思のつかむ」「教材研究の方法」「指導上の工夫」などをテーマに養成講座の運営についてグループワークを実施しました。

今回、各地域（群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県）の養成状況を意見交換し、講師の人材不足や、講師のレベルアップの必要性など、本市と類似した課題があることがわかりました。各地域の担当者とつながりを深めることのできる有意義な研修会となりました。

劇団「横浜桜座」 「どんぐりと山猫」&「4センチメートル」 連続公演(バリアフリー公演)に協力しました



1月24日（木）～27日（日）の4日間、劇団「横浜桜座」プロデュースの「どんぐりと山猫」&「4センチメートル」の連続公演がラポールシアターで行われました。1月26日（土）～27日（日）の2日間は、日本語字幕投影・音声ガイド機器を用意したバリアフリー公演として行いました。この2日間で計498人の来場者があり、会場は大盛況でした。

横浜桜座は横浜ラポールの障害者のための演劇ワークショップをきっかけに平成25年に誕生し、「どんぐりと山猫」に横浜桜座の障害者メンバーを含む役者さんたちが出演し、「4センチメートル」はプロ俳優が出演しました。役者の演技力と客席と一体感のある演出効果によって、会場の観客は舞台に魅了されました。バリアフリー公演の日本語字幕は、横浜ラポール字幕サークル「まじっく」が字幕制作と投影に協力しました。

今後も、横浜ラポールでは、バリアフリー公演に協力していく予定です。字幕付きイベントなどの予定は、横浜ラポール広報誌「ラポラポ」や聴覚障害者情報提供施設広報誌「横浜ウェーブ」、そして、横浜ラポールのホームページでお知らせしていきます。

浜筆協&浜難聴交流会に参加しました

1月27日（日）、横浜市中途失聴・難聴者協会（浜難聴）の1月例会に当施設の職員が参加しました。今回は横浜市要約筆記者協会（浜筆協）との交流会で、大勢の参加があり賑やかでした。冒頭に少し時間を頂戴し、情報提供施設についてPR説明させていただきました。皆さんから通訳派遣や通訳依頼について複数の質問があり、今後の利用につながればよいと思いました。



横浜ラポール字幕付き映画上映会 コメディ映画「嘘八百」

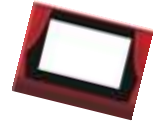
日時：2019年3月10日（日）14：00上映開始（13：30開場）

会場：ラポールシアター 300人無料ご招待

申込先：横浜ラポール字幕付き映画会「嘘八百」T係

FAX：045-475-2053 / 電話：045-475-2055

ホームページ：<http://www.yokohama-rf.jp/rapport/>



出た！ネタ！

(1月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

| 内容 | 手話通訳 | 要約筆記 | 合計 | 昨年同月 | 相談事業 | 実件数 | 対応数 |
|-------|-------|-------|--------|-------|------|-----|-----|
| 医療・保健 | 4,972 | 218 | 5,190 | 4,441 | 医療 | 93 | 225 |
| 司法 | 52 | 5 | 57 | 98 | 職業 | 23 | 35 |
| 教育・保育 | 622 | 50 | 672 | 607 | 教育 | 2 | 2 |
| 労働・雇用 | 627 | 69 | 696 | 659 | 住宅 | 19 | 37 |
| 社会生活 | 1,407 | 168 | 1,575 | 1,197 | 生活 | 185 | 310 |
| 自己啓発 | 228 | 53 | 281 | 263 | 福祉 | 154 | 291 |
| 福祉推進 | 978 | 1,269 | 2,247 | 2,172 | 法律 | 16 | 31 |
| 相談員 | 3 | 0 | 3 | 0 | 聞こえ | 15 | 17 |
| 他都市 | 155 | 20 | 175 | 175 | 合計 | 507 | 948 |
| 合計 | 9,044 | 1,852 | 10,896 | 9,612 | 昨年同月 | 453 | 851 |
| 昨年同月 | 7,879 | 1,733 | 9,612 | | | | |

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

| | | | | | | |
|------|----|----|------|-------|---------|----|
| 手話 | 回数 | 36 | 参加人数 | 1,113 | 自主制作作品数 | 53 |
| 要約筆記 | 回数 | 23 | 参加人数 | 557 | | |

情報動き



1月

4日 仕事始め
9日 要筆現任研
9日 要筆現任研反省会（ハソコ）
10日 聴障者災害救援地域本部会議
11日 要筆現任研反省会（手書き）
12日 浜身連新年のつどい
16日 手話養成運営委員会（横聴協）
20日 30年度事業見直し会議
21日 手話専門研修
24日 職場体験（六角橋中学校）
25～26日 全国ろうあ者相談員研修会（岐阜）
26～27日 桜座公演（字幕付き演劇会）
27日 浜難聴例会参加（啓発）
28日 衛生委員会

30日 横浜市監査
30日 手話派遣事業運営委員会
31日 リハビリテーション研究会（後見制度）
31日 非常勤手話採用説明会
2月
4日 見学対応（長野県立聴障センター）
4日 手話1年次研修
5日 ビックアライ災害時支援リターン研修
6日 要筆現任研修
7日 要筆養成修了式（浜難聴）
7日 非常勤手話採用説明会
8日 ヨックテク準備運営委員会
8日 研究発表会実行委員会
9～10日 手話養成講師リターン研修（埼玉県）

11日 手話養成講師会（横聴協）
12日 電気点検日
12日 視聴覚機器点検
13日 要筆派遣事業運営委員会
13日 要筆試験委員会（浜難聴）
14日 聞こえの相談事業運営委員会
16日 要筆登録試験準備（浜難聴）
17日 要筆登録試験（浜難聴）
18日 市立ろう高等部見学対応
20日 非常勤手話通訳採用試験
20日 手話養成運営委員会（横聴協）
21日 手話サークル「わかば」講演対応
22日 全聴情協第3ブロック研修（県センター）
24日 手話関係者健康フォーラム in 神奈川

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成 31 年 2 月 28 日

発行者：（社福）横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>